

第 60 期

事業報告書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

株主メモ

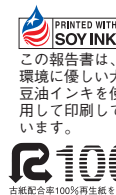
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金	利益配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
基準日	3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〈郵便物送付／電話照会〉連絡先 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
同取次所 単元未満株式の買取 請求及び買増請求	単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記名義書換代理人事務取扱場所及び同取次所にて受付けております。 ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。 また、買増請求は、9月30日及び3月31日のそれぞれ12営業日前から当該日までの期間はお取扱いができませんので、ご注意ください。
公告の方法	電子公告 電子公告掲載 URL http://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

●お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求に必要な各用紙、株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。

明日の健康を見つめる

 **キッセイ薬品工業株式会社**



千畳敷のお花畑と宝剣岳

 **キッセイ薬品工業株式会社**

目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト (連結・単体)	P3~4
営業の概況 (連結)	P 5
研究開発の状況	P 6
財務諸表 (連結)	P7~8
財務諸表 (単体)/利益処分	P9~10
製品の紹介	P11
トピックス	P12
株式の状況	P13
会社の概要	P14



橘の花

「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である橘を冠した橘^{たちばなせい}生^か化学研究所としてスタートしました。翌年橘^{たちばなせい}生^か薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

ここに当社第60期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の営業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

少子高齢化の進展により、年金、介護、医療など社会保障制度全般の改革が進められている中、医療制度改革のもとに医療費や薬剤費の抑制策が進行し、また、昨年4月に実施されました薬価基準の引き下げの影響もあり、国内医薬品業界における企業の経営環境は厳しさを増しております。

このような状況下において、当社は創立以来「研究開発なくして製薬企業にあらず」という精神のもと、新薬開発を優先した経営戦略を展開してまいりました。現在、中期経営5ヵ年計画「EVOLUTION PLAN」を展開し、「創業研究開発型企業」としての確固たる地位の構築に向け推進しております。

中期経営計画2年度目にあたる第60期の業績は、売上高では薬価基準引き下げの影響や競合品、後発品による影響を受け減少した製品がある一方で、新薬の糖尿病治療薬グルファストが収益に貢献し、またアレルギー性結膜炎治療薬リザベン点眼液や技術料収入などの売上が寄与して増収となりましたが、価格改定などに伴い売上原価率が上昇しましたことや新薬の育成のために販売費を積極的に投入いたしましたことなどにより減益となりました。

また、研究開発は順調に進捗しております。昨年6月に前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名）の製造承認申請を行いましたほか、グルファスト及び口腔乾燥症状改善薬ピロカルピン（一般名）の効能追加についての臨床試験もほぼ終了し、計画通り第61期に承認申請できる見込みであります。今後、大型新薬と期待するシロドシンをはじめ、これら新薬の発売を順次予定しておりますことから、引き続き研究開発と育薬のために経営資源を積極的に投入し、中期経営計画の目的とする「成長フェーズへの転換」に向け邁進してまいります。

株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



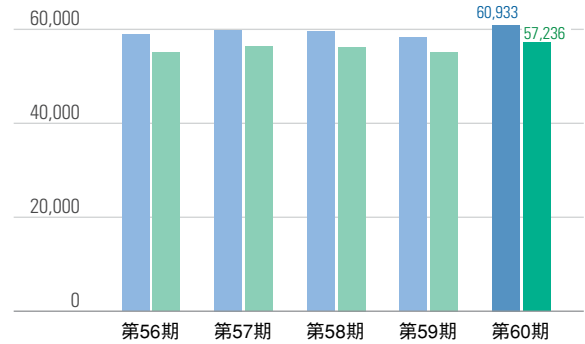
代表取締役社長

神澤陸雄

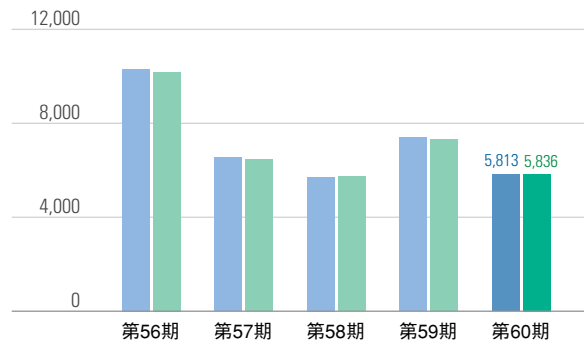
業績ハイライト (連結・単体)

■ 連結 ■ 単体

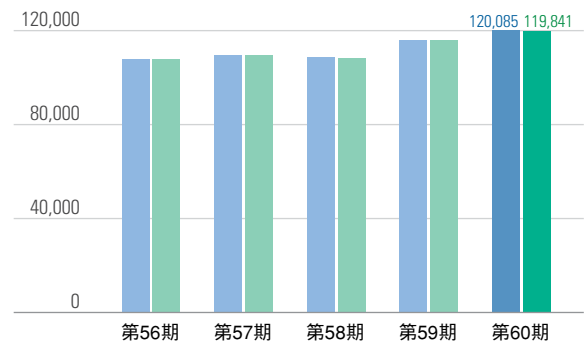
●売上高 (百万円)



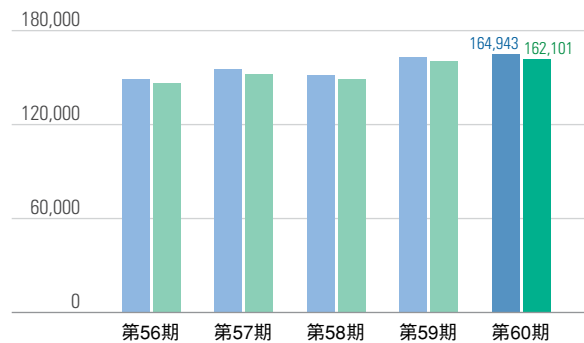
●経常利益 (百万円)



●純資産額 (百万円)



●総資産額 (百万円)



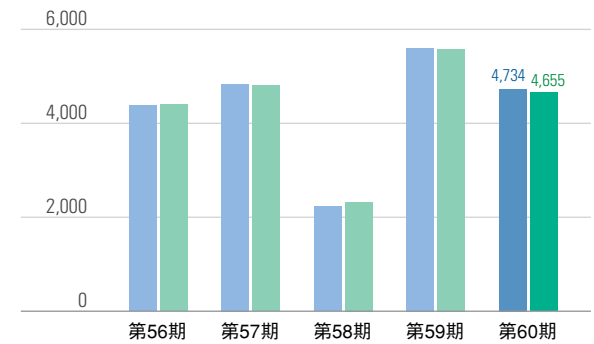
連結

	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
売上高 (百万円)	58,936	59,929	59,528	58,225	60,933
経常利益 (百万円)	10,300	6,534	5,711	7,389	5,813
当期純利益 (百万円)	4,382	4,836	2,231	5,599	4,734
純資産額 (百万円)	108,017	109,831	108,635	116,265	120,085
総資産額 (百万円)	149,188	155,740	151,582	162,841	164,943
1株当たり当期純利益 (円)	75.96	84.85	39.36	101.82	86.47
1株当たり純資産 (円)	1,885.39	1,942.47	1,978.26	2,137.76	2,210.01
株主資本比率 (%)	72.4	70.5	71.7	71.4	72.8
株主資本当期純利益率 (%)	4.1	4.4	2.0	5.0	4.0

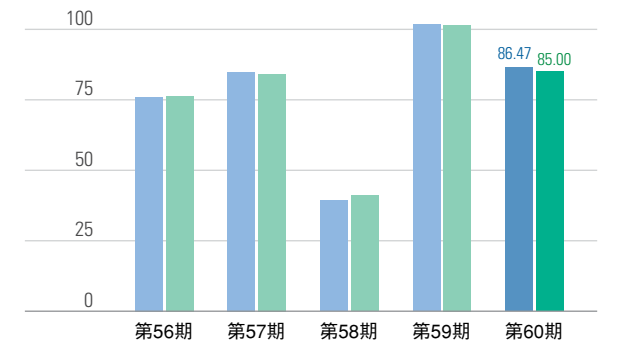
(注) 1. 1株当たり当期純利益は、第57期より期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。
2. 1株当たり純資産は、第57期より期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。

業績ハイライト (連結・単体)

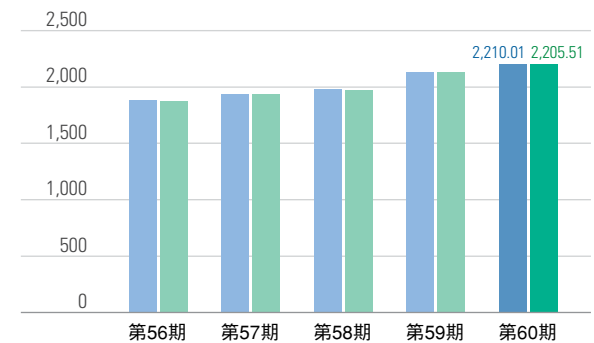
●当期純利益 (百万円)



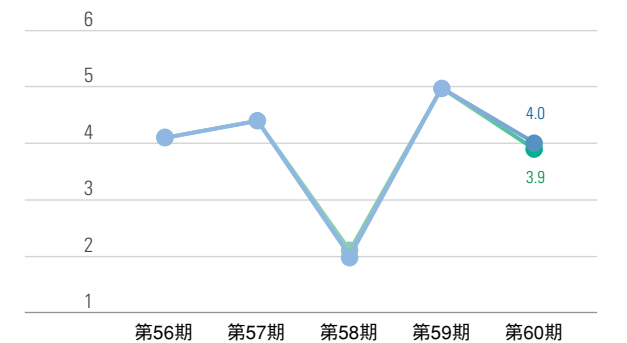
●1株当たり当期純利益 (円)



●1株当たり純資産 (円)



●株主資本当期純利益率 (ROE) (%)



単体

	第56期	第57期	第58期	第59期	第60期
売上高 (百万円)	55,016	56,315	56,240	55,178	57,236
経常利益 (百万円)	10,184	6,454	5,737	7,331	5,836
当期純利益 (百万円)	4,408	4,803	2,322	5,584	4,655
純資産額 (百万円)	107,743	109,516	108,411	116,026	119,841
総資産額 (百万円)	146,611	152,524	148,915	160,348	162,101
1株当たり当期純利益 (円)	76.94	84.26	40.99	101.54	85.00
1株当たり純資産 (円)	1,880.51	1,936.90	1,974.18	2,133.36	2,205.51
株主資本比率 (%)	73.5	71.8	72.8	72.4	73.9
株主資本当期純利益率 (%)	4.1	4.4	2.1	5.0	3.9
資本金 (百万円)	24,219	24,219	24,219	24,219	24,219
発行済株式総数 (株)	57,295,185	56,795,185	56,795,185	56,795,185	56,795,185
1株当たり配当金 (円)	14	14	14	17	20

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、第57期より期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。
2. 1株当たり純資産は、第57期より期末発行済株式総数から期末自己株式数を控除した株式数を用いて、また、第58期より役員賞与金を控除して算出しております。

営業の概況（連結）

当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初は輸出が好調に推移し設備投資の増加や底堅い個人消費に支えられて回復基調にありましたものの、原油価格の高騰や輸出の鈍化などの影響から、景気の減速懸念が浮上し、本格的な回復までには至らない状況のまま推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療費や薬剤費の抑制策による影響を引き続き受け、更に、昨年4月に実施されました薬価基準の引き下げの影響もあり、一層厳しい状況にありました。また、情報サービス業界、物品販売業界におきましては、IT投資の効率化を厳しく問われる業界環境や景況感の改善がままならない状況が続く中での厳しい価格競争など、依然として熾烈な競争環境下に推移いたしました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、昨年5月に糖尿病治療薬「グルファスト錠」（一般名：ミチグリニド）を新発売（当社と武田薬品工業株式会社が同一製品名にて共同販売）して育成を図るとともに、ユーシービージャパン株式会社より販売移管を受けました血圧降下剤「シナロング錠」の販売を本年1月より開始いたしましたほか、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。また、万有製薬株式会社が子会社の万有エー・エス・シー株式会社を通じて運営していました腎臓疾患領域を対象とした特殊食品事業を取得し、全製品を当社ヘルスケア事業部の商品として本年3月より販売を開始いたしました。

研究開発面では、当社創製品であります前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「シロドシン（一般名）」（第Ⅲ相臨床試験を第一製薬株式会社と共同で実施）の製造承認申請を昨年6月に行いましたほか、平成15年5月に製造承認申請いたしました「ピロカルピン（一般名）」（頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状改善薬）の承認取得に向けたフォローを行うとともに、グルファスト、ピロカルピンの効能追加等の開発を推進いたしました。更に、創業テーマのライセンスアウトも積極的に進めております。当社がミチグリニドの欧州等における独占的開発・販売権を供与しておりましたセルヴィエ社（仏）では昨年7月に本剤の開発を中止いたしました。当社では、引き続き、本剤を含めた創業テーマのライセンスアウトを図るべく、交渉活動を進めております。当連結会計年度におきましては、シロドシンをワトソン社（米）並びにレコルダッチ社（伊）にライセンスアウトいたしましたほか、新規糖尿病治療薬「KGA-2727」の国内における開発及び販売権を大日本製薬株式会社に供与するライセンス契約を締結いたしました。

その他の事業におきましては、グループとしての相乗効果の向上を課題に、事業内容の再編成等に積極的に取り組んでおります。

この結果、当連結会計年度の売上高は609億3千3百万円（前連結会計年度比4.6%増）となりましたが、グルファストの新発売に伴う医薬情報活動のための諸経費などの増加を主に販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は55億1千6百万円（前連結会計年度比11.2%減）となり、経常利益は58億1千3百万円（前連結会計年度比21.3%減）、当期純利益は47億3千4百万円（前連結会計年度比15.4%減）となりました。

なお、昨年8月1日付けでキッセイ厚生年金基金の代行返上と新企業年金制度への移行が認可されました。このことに伴い、代行返上益15億7千万円を特別利益に計上いたしました。

来期の見通し

医薬品業界は、本年4月から改正薬事法が完全施行されましたが、今後、医療保険制度の抜本的な改正に向けた見直しのほか、次回の薬価並びに診療報酬の改定や医療費抑制のための本格的な検討が予定されるなど、引き続き厳しい環境下にあります。その他の事業におきましても、デフレ傾向は基本的に継続しており、景気回復の遅れが懸念され厳しい状況が続くと予想されます。

このような情勢の中で当社グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体制の確立を目指し、中期経営計画に基づき、成長戦略に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、売上高622億円、経常利益43億2千万円、当期純利益28億円を目標に業績の確保に努力いたします。

対処すべき課題

「EVOLUTION PLAN」でスローガンとしております「収益構造の変革」と「成長フェーズへの転換」を着実に達成することです。

「収益構造の変革」とは、研究重点領域を絞り、経営資源の適正投入を行うとともに、現在の人員体制を維持し、各種業務の抜本的見直しによる経費節減を図ることです。更に、従来から継続しております他社、あるいは研究機関等との共同開発や共同販売などの戦略的提携について積極的な展開を図ります。

「成長フェーズへの転換」とは、当中期経営計画期間中に、糖尿病治療薬ミチグリニド、口腔乾燥症状改善薬ピロカルピン、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシンの3テーマについて効能追加を含めた5適応症全ての承認を国内市場で取得し、早期育成を図ることです。このうちミチグリニドにつきましては既に承認を取得し、グルファストとして新発売しております。また、海外医薬品市場におきましては、マイルストーン及びロイヤリティ収入に収益を求めるライセンスアウトを推進し、当社オリジナル製品が少しでも早く海外で発売されることを目指します。

研究開発の状況

技術革新と国際化の急激な進展により、研究開発テーマの評価基準と承認審査のハードルは高くなっています。このような状況下において、当社は経営ビジョン「創薬研究開発型企業」を実現するために、創薬研究の基盤強化、最優先テーマの早期承認取得及びR&Dパイプラインの充実強化を推進しております。

●研究開発の状況

国内

（平成17年5月現在・第Ⅱ相以上）

開発段階	製品名／一般名	開発番号	開発区分	予想される適応症
承認申請中	ピロカルピン	KSS-694	導入品/エム・ジー・アイ・ファーマ(アメリカ)	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善
	シロドシン	KMD-3213	創製品/第一製薬共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害
第Ⅲ相	ピロカルピン	KSS-694	導入品/エム・ジー・アイ・ファーマ(アメリカ)	シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善(効能追加)
第Ⅱ/Ⅲ相	グルファスト [®] 錠 /ミチグリニド	KAD-1229	創製品/自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善 (<i>α</i> -グルコシダーゼ阻害剤との併用療法)(効能追加)

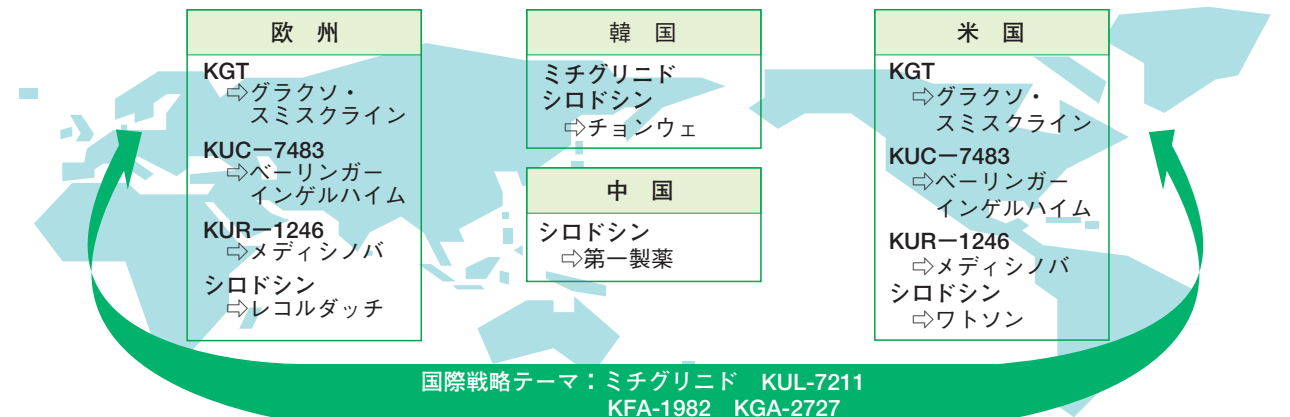
海外

開発段階	一般名	開発番号	開発区分/導出先	導出先権利許諾地域	予想される適応症
第Ⅲ相	シロドシン	KMD-3213	ワトソン(アメリカ)	アメリカ、カナダ、メキシコ	前立腺肥大症に伴う排尿障害
	ミチグリニド	KAD-1229	自社開発		2型糖尿病
第Ⅱ相		KGT	グラクソ・スミスクライン(イギリス)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病
		*KUR-1246	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	切迫早産
	*シロドシン	KMD-3213	レコルダッチ(イタリア)	欧州(45カ国)	前立腺肥大症に伴う排尿障害
		VX-702 (KVK-702)	ヴァーテックス(アメリカ)共同開発		関節リウマチ

*メディシノバに技術導出したKUR-1246は第Ⅱ相臨床試験準備中とともに米国での第Ⅰ相臨床試験中、また、レコルダッチに技術導出したシロドシン(KMD-3213)は導出先による臨床試験の準備中

海外展開は当社成長のための重要な経営課題です。海外展開にあたってはライセンスアウトによる戦略をとっており、将来における収益基盤の核となる海外売上規模を拡大するために、ライセンスアウトによる国際展開の更なる推進を図ります。当期は、ワトソン社（アメリカ）及びレコルダッチ社（イタリア）に排尿障害改善薬シロドシンをライセンスアウトいたしました。

●ライセンスアウトの状況（平成17年5月現在）



財務諸表（連結）

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成16年3月31日現在)	当 期 (平成17年3月31日現在)	科目	期別 前 期 (平成16年3月31日現在)	当 期 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	93,641	93,743	流動負債	18,797	18,295
現金及び預金	38,220	35,858	支払手形及び買掛金	7,205	8,437
受取手形及び売掛金	24,595	26,151	短期借入金	2,269	2,275
有価証券	13,201	14,583	未払法人税等	3,294	965
たな卸資産	8,728	9,797	賞与引当金	1,746	1,994
繰延税金資産	1,904	1,830	返品調整引当金	28	23
その他	6,995	5,526	売上割戻引当金	584	649
貸倒引当金	△ 4	△ 3	販売費引当金	264	237
			その他	3,404	3,710
固定資産	69,200	71,199	固定負債	27,685	26,470
有形固定資産	28,174	27,794	転換社債	21,777	21,777
建物及び構築物	12,332	11,768	長期借入金	180	139
土地	12,918	12,918	役員退職慰労引当金	1,311	1,295
建設仮勘定	17	97	退職給付引当金	4,417	3,258
その他	2,906	3,010			
無形固定資産	2,657	3,835	負債合計	46,483	44,765
投資その他の資産	38,369	39,569	(少数株主持分)		
投資有価証券	32,008	34,917	少数株主持分	91	92
長期前払費用	1,349	1,319	(資本の部)		
繰延税金資産	1,211	301	資本金	24,219	24,219
その他	3,923	3,140	資本剰余金	24,110	24,111
貸倒引当金	△ 123	△ 109	利益剰余金	67,811	71,344
			その他有価証券評価差額金	4,001	4,390
			自己株式	△ 3,877	△ 3,980
資産合計	162,841	164,943	資本合計	116,265	120,085
			負債・少数株主持分・資本合計	162,841	164,943

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	当 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
売上高	58,225	60,933
売上原価	21,357	23,526
売上総利益	36,868	37,406
販売費及び一般管理費	30,658	31,889
営業利益	6,210	5,516
営業外収益	1,586	672
営業外費用	407	375
経常利益	7,389	5,813
特別利益	2,282	2,265
特別損失	49	99
税金等調整前当期純利益	9,622	7,980
法人税、住民税及び事業税	3,847	2,510
法人税等調整額	135	719
少数株主損益	39	14
当期純利益	5,599	4,734

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	当 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
I. 資本剰余金期首残高	24,110	24,110
II. 資本剰余金増加高	0	0
自己株式処分差益	0	0
III. 資本剰余金期末残高 (利益剰余金の部)	24,110	24,111
I. 利益剰余金期首残高	63,004	67,811
II. 利益剰余金増加高	5,599	4,734
当期純利益	5,599	4,734
III. 利益剰余金減少高	792	1,202
配当金	765	1,087
役員賞与	27	40
合併による減少高	—	74
IV. 利益剰余金期末残高	67,811	71,344

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別 前 期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	当 期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,622	7,980
減価償却費	2,868	3,011
引当金の増減額	547	681
受取利息及び受取配当金	△ 322	△ 315
支払利息	204	203
為替差損	42	12
厚生年金基金代行返上益	—	△ 1,570
有価証券売却損益	△ 178	△ 504
有価証券評価損益	△ 868	△ 253
投資有価証券評価損	9	22
固定資産処分損	18	58
売上債権の増減額	△ 557	△ 1,512
たな卸資産の増減額	△ 350	△ 1,055
その他流動資産の増減額	826	1,032
仕入債務の増減額	△ 288	1,236
その他流動負債の増減額	195	268
役員賞与の支払額	△ 27	△ 40
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 0	69
小計	11,741	9,326
利息及び配当金の受取額	259	277
利息の支払額	△ 204	△ 203
法人税等の支払額	△ 754	△ 4,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,042	4,563
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△ 49	△ 58
定期預金の払戻による収入	76	49
特定金銭信託の払戻による収入	16	—
有価証券の売却による収入	1,580	1,188
有形固定資産の取得による支出	△ 1,817	△ 1,658
有形固定資産の売却による収入	11	12
無形固定資産の取得による支出	△ 610	△ 1,911
投資有価証券の取得による支出	△ 5,005	△ 2,156
投資有価証券の売却による収入	457	633
貸付けによる支出	△ 456	△ 216
貸付金回収による収入	124	215
長期前払費用にかかる支出	△ 6	△ 284
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 378	△ 363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,057	△ 4,549
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450	470
短期借入金の返済による支出	△ 290	△ 440
長期借入金の返済による支出	△ 75	△ 65
親会社による配当金の支払額	△ 765	△ 1,087
自己株式の取得による支出	△ 880	△ 105
自己株式の売却による収入	3	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,556	△ 1,225
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 42	△ 12
V. 現金及び現金同等物の増減額	3,384	△ 1,223
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	46,786	50,171
VII. 合併に伴う現金及び現金同等物の受入高	—	35
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	50,171	48,983

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表（単体）

●貸借対照表

科目	期別		科目	期別	
	前期 (平成16年3月31日現在)	当期 (平成17年3月31日現在)		前期 (平成16年3月31日現在)	当期 (平成17年3月31日現在)
(単位：百万円)					
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	92,319	92,188	流動負債	17,109	16,152
現金及び預金	37,991	35,447	支払手形	736	92
受取手形	336	360	買掛金	5,388	7,367
売掛金	23,545	25,025	短期借入金	1,150	1,150
有価証券	13,201	14,583	1年内返済予定長期借入金	4	3
商品・製品	5,075	5,455	未払金	3,707	3,628
半製品・仕掛品	1,739	1,591	未払法人税等	3,266	917
原材料・貯蔵品	1,749	2,669	賞与引当金	1,589	1,744
繰延税金資産	1,811	1,698	返品調整引当金	28	23
その他	6,868	5,356	売上割戻引当金	584	649
固定資産	68,028	69,913	販売費引当金	264	237
有形固定資産	27,232	26,903	その他の	387	336
建物・構築物	12,322	11,761	固定負債	27,212	26,107
機械・装置	1,243	1,131	転換社債	21,777	21,777
車両・運搬具	18	13	長期借入金	39	30
工具・器具・備品	1,245	1,513	役員退職慰労引当金	1,259	1,242
土地	12,385	12,385	退職給付引当金	4,135	3,058
建設仮勘定	17	97	負債合計	44,321	42,260
無形固定資産	2,769	3,850	(資本の部)		
ソフトウェア	1,823	2,501	資本金	24,219	24,219
その他	945	1,348	資本剰余金	24,110	24,111
投資その他の資産	38,026	39,159	資本準備金	24,110	24,110
投資有価証券	30,877	33,815	その他資本剰余金	0	1
関係会社株式	1,222	1,222	自己株式処分差益	0	1
長期貸付金	545	535	利益剰余金	67,573	71,100
関係会社長期貸付金	1,000	950	利益準備金	940	940
長期前払費用	1,345	1,313	任意積立金	59,400	64,000
敷金・保証金	414	404	別途積立金	59,400	64,000
繰延税金資産	972	62	当期末処分利益	7,232	6,159
その他	1,771	966	その他有価証券評価差額金	4,000	4,389
貸倒引当金	△ 123	△ 109	自己株式	△ 3,877	△ 3,980
資産合計	160,348	162,101	資本合計	116,026	119,841
			負債・資本合計	160,348	162,101

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

利益処分

●損益計算書

科目	期別	
	前期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
(単位：百万円)		
売上高	55,178	57,236
売上原価	19,276	20,759
返品調整引当金戻入額	22	28
返品調整引当金繰入額	28	23
売上総利益	35,895	36,481
販売費及び一般管理費	29,720	30,956
営業利益	6,175	5,524
営業外収益	1,654	773
受取利息	36	42
有価証券利息	85	69
受取配当金	193	195
有価証券売却益	200	0
有価証券評価益	858	253
その他の	280	212
営業外費用	497	461
支払利息	21	21
社債利息	164	164
為替差損	53	26
その他の	257	249
経常利益	7,331	5,836
特別利益	2,282	2,133
厚生年金基金代行返上益	—	1,437
投資有価証券売却益	—	503
訴訟損害賠償金	2,282	191
特別損失	47	95
固定資産処分損	24	72
投資有価証券売却損	22	—
投資有価証券評価損	—	22
税引前当期純利益	9,566	7,874
法人税、住民税及び事業税	3,800	2,460
法人税等調整額	182	759
当期純利益	5,584	4,655
前期繰越利益	2,028	2,048
中間配当金	380	543
当期末処分利益	7,232	6,159

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科目	金額
当期末処分利益	6,159,977,837
これを次のとおり処分いたします。	
利益配当金 (1株につき10円)	543,211,900
役員賞与金 (取締役賞与金) (監査役賞与金)	35,530,000 (32,660,000) (2,870,000)
別途積立金	3,500,000,000
次期繰越利益	2,081,235,937

(注) 1. 平成16年12月13日に543,473,740円（1株につき10円）の中間配当を実施いたしました。
2. 利益配当金は自己株式2,473,995株に対する金額を除いております。

製品の紹介

●主な医療用医薬品

●その他代謝用薬	
グルファスト錠	糖尿病治療薬
●神経系用薬	
カバサル錠	パーキンソン病治療薬
●感覚器官用薬	
リザベン点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬
リズモンTG点眼液	緑内障・高眼圧症治療薬
●循環器官用薬	
ベザトルSR錠	高脂血症治療薬
キサノン注	脳循環改善薬
●消化器官用薬	
ガスコン	消化管内ガス駆除薬
アラント	胃・十二指腸潰瘍治療薬
●ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬	
ウテメリン	切迫流・早産治療薬
フラグミン静注	血液凝固阻止薬
ゾラデックス1.8mgデポ	子宮内膜症治療薬
エストラダームM	女性ホルモン剤
フルスタン錠	活性化型ビタミンD ₃ 製剤
●アレルギー用薬	
リザベン	アレルギー性疾患治療薬
ドメナン錠	気管支喘息治療薬

●主なヘルスケア食品

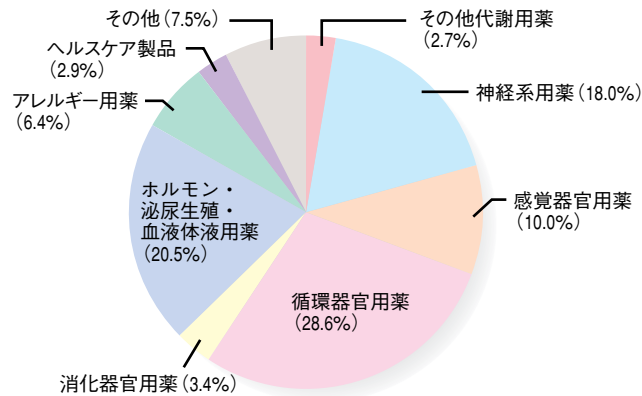
高齢者・介護補助食品

スルーキング・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーソフトS・・・液状食品やキザミ食に、温度に関係なくお好みの自然なとろみがつけられるとろみ調整食品です。においも味もなく、食品の風味を損ないません。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。うなぎ、ほたて風味、かに風味、いわし、いとより鯛、ポークしょうが焼きがあります。また、たんぱく質を強化した、ぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。

●売上高比率 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)



エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できます。味の種類はマスカット、オレンジ、ウメ、カリン、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召し上がれるクッキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

たんぱく質、リン、カリウム調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質を抑えたおいしいパック入りごはんです。温めてそのまま召し上がりいただけます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを低減した、厚生労働省許可特別用途食品(低たんぱく質食品、腎不全患者用)です。

トピックス

持続性Ca拮抗降圧剤

シナロング[®]錠5
CINALONG[®] Tab.5



販売開始

ユーシービージャパン株式会社より持続性カルシウム拮抗降圧剤「シナロング[®]錠」の販売移管を受け、平成17年1月から販売並びに医療機関への情報提供を開始いたしました。

「シナロング[®]錠」は平成7年に発売された持続性カルシウム拮抗降圧剤です。1日1回(朝食後)の服用で24時間にわたり安定した降圧効果を示します。また、従来のカルシウム拮抗降圧剤が有する降圧作用に加え、降圧時の心拍数の増加抑制作用、ストレスを受けたときの血圧上昇抑制作用、腎保護効果等が確認されており、医療機関、患者さんから高く評価されています。

ヘルスケア製品 ～「ゆめシリーズ」・「マクトンシリーズ」ラインナップ～

当社では、高齢者や要介護者の方々、食事療法や食事制限が必要とされる患者さん向けに特殊食品の開発、販売を行っております。平成17年3月からは更なる事業発展と「患者さんのため」に万有製薬株式会社より承継した特殊食品の販売を開始いたしました。ラインナップに加わりました、低たんぱく食品の「ゆめシリーズ」、高カロリー・低たんぱく食品の「マクトンシリーズ」の主な製品をご紹介します。



ゆめごはん 1/25



ニューマクトン Peachゼリー

低たんぱくごはんのパイオニア「ゆめごはん」は多くの患者さんに支持されて、市場シェアの約4割を占めています。「ゆめごはん」はたんぱく質をごはんの1/5、1/10、1/25に抑えたもの、たんぱく質を1/10に抑え更に水溶性食物繊維をプラスしたものの4種類があります。「ニューマクトン Peachゼリー」は中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品で、メロン、グレープ、あんずの3種類の味があり食物繊維も含まれていて、たんぱく質の摂取制限からカロリー不足に陥りやすい患者さんをサポートします。

株式の状況

会社が発行する株式の総数 128,516,000株
 発行済株式の総数 56,795,185株
 株主数 3,507名 (前期末比 64名減)
 平均所有株数 16,194株 (前期末比 290株増)

●大株主

株主名	持株数	出資比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,247千株	7.5%
神澤邦雄	3,699	6.5
有限会社カンザワ	3,178	5.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,831	5.0
株式会社八十二銀行	2,670	4.7
株式会社みずほ銀行	2,670	4.7
第一生命保険相互会社	2,418	4.3
日本生命保険相互会社(特別勘定年金口)	1,235	2.2
鍋林株式会社	1,219	2.2
株式会社長野銀行	1,126	2.0

(注) 当社は自己株式2,473,995株を保有しております。

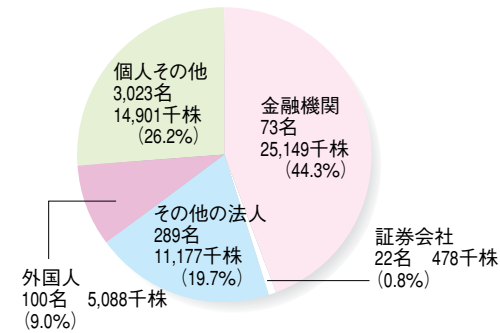
●株価チャート



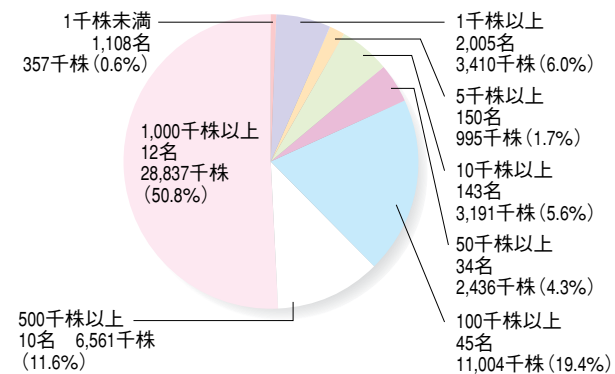
会社の概要

(平成17年3月31日現在)

●所有者別分布



●所有株数別分布



(平成17年3月31日現在)

キッセイ薬品工業株式会社
 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
 昭和21年8月9日
 24,219,657,478円
 医療用医薬品の製造販売
 本社
 長野県松本市芳野19番48号
 電話(0263)25-9081 〒399-8710
 東京本社
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話(03)3279-2761 〒103-0022
 東京本社(小石川)
 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店
 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、
 東京支店、横浜支店、松本支店、
 名古屋支店、京都支店、大阪支店、
 高松支店、広島支店、福岡支店
 (注)支店の下に24営業所を設置しております。
 工場
 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)
 研究所
 中央研究所・安全性研究所・製剤研究所
 (長野県穂高町)
 ヘルスケア事業センター(塩尻市)
 従業員数 1,463名(平均年齢36.9歳)

代表取締役社長 神澤邦雄
 代表取締役副社長 神澤陸雄
 取締役副社長 神澤垂正
 専務取締役 神澤斎藤
 常務取締役 神澤味藤
 取締役 神澤田幸利
 取締役 神澤内正幸
 取締役 神澤圭一郎
 取締役 神澤旗征一郎
 取締役 神澤熊澤一夫
 取締役 神澤立喜夫
 取締役 神澤赤羽増夫
 取締役 神澤北秀夫
 取締役 神澤久保嘉夫
 取締役 神澤花田信肇
 取締役 神澤池田信肇

HPのご案内

タイムリーな情報をウェブサイトでご提供しています。



URL: <http://www.kissei.co.jp/>

アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



資料請求のご連絡先: 広報部 TEL: 0263-25-9523 (土日祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)

環境報告書

環境への取り組みを「環境報告書」としてまとめています。

